
純恋歌

悦威カイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

純恋歌

【Nコード】

N1598V

【作者名】

悦威カイ

【あらすじ】

工藤新一に戻って、何度目かの夏の出来事…

花火に紛れて、彼女は優しく呟いた…

自分のお腹を、愛おしそうに撫でながら――…

バ———？ン———……

耳に響く大きな音。

そんな音と共に、彼女は何かを言った……

「え？」

そう聞き返したが、彼女は俯きながら、

「なんでもない」とそっぽを向いた。

工藤新一に戻って……

何度目かの夏の出来事———？……

紅 蒼 白

色とりどりの花火が、黒いキャンパスを彩る。
その美しさに、思わず目を細めた。
繋がれた手から、温もりを感じる。
隣で微笑む彼女が、その光に照らされて…
とても美しく輝いているような気がした…

(なーんて…ちょっと痛えか…)

そう考えた自分を鼻で笑い、より強く手を握る。
もう二度と、離さないように…

「新…」

「ん…？」

突然、名を呼ばれた。

「来年も…一緒に来ようね…」

そう言って、少し微笑んだ。

「ああ…」

優しく頷いた。

――― 来年は…三人で… ―――

花火に紛れ、
彼女は優しく、自分のお腹を愛おしそうに撫でながら。

そつと…呟いた…

(後書き)

どうもカイです。

甘いお話が書きたくて (^ O ^) /

いやゝ甘え…甘すぎる…

感想、評価お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1598v/>

純恋歌

2011年10月9日00時43分発行